

科名 外科

外科-64

対象疾患名 治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名 Pmab単剤

R p	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1 … 8 … 14
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ	↓
2	点滴注	側管	生食	50mL	30分	↓
			デキサート	6.6mg		
3	点滴注	側管	ベクティビックス	6mg/kg	60分以上かけて 要フィルター	↓
			生食	100mL		

1クール = 14日

～ MEMO ～

DLTは皮膚障害

[注1] ベクティビックス使用にあたってはKRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。

[注2] ベクティビックスは生食で希釈。

[注3] ベクティビックス投与時は投与前後に生食でフラッシュし、

インラインフィルター (0.2または0.22ミクロン) を使用すること。

[注4] ベクティビックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。

2回目以降に重度のinfusion reactionを発現することもある。

[注5] ベクティビックス投与開始前に皮膚科依頼をし、皮膚障害のコントロールについて連携を図ること。